

科目名	老年看護Ⅱ (高齢者の看護、日常生活援助技術)					DP1、DP2、DP3 DP4、DP6	看護高等課程
学年	1年	分野	専門 老年看護	時間数	21時間	担当 教員	専任教員
科目 概要	基礎看護技術Ⅶ(看護技術統合演習)と連動した事例を活用し、ケアの対象者である高齢者を正しく理解することを主眼に、老化に伴う諸機能の低下により起こる、高齢者の心身の変化を捉え、出来るだけ自立した状態で生活を送れるように、高齢者の日常生活における援助ニーズを理解し、高齢者の特性をふまえた援助と観察方法を学ぶ。また、治療を受ける高齢者に対する理解を深め、老年期に発症しやすい健康障害と看護について学ぶ。						
到達 目標	1. 老年者の日常生活上のニーズを理解する。 2. 老年者の特性をふまえた日常生活援助と観察の方法を理解する。 3. 検査・治療に伴う看護、高齢者に多い疾患の看護を理解する。						
回数	単元項目		授業内容			形態	担当教員
1~3 (5時間)	高齢者の日常生活援助の 実践方法		高齢者の日常生活を支える看護(食生活・排泄・清潔・衣生活・活動と休息・歩行・移動・睡眠) 日常生活援助の必要性と援助の内容、援助方法、援助の工夫とその実際(難聴・視覚障害) (基礎看護Ⅷ事例:呼吸機能障害の技術演習と連動)			講義 演習	専任教員
4~10 (15時間)	高齢者の病態と疾患の看護		高齢者の病態、疾患とその特徴 系統別にみる症状・疾患と看護			演習	専任教員
	高齢者の緊急時・災害時の看護		緊急時の対応を要する高齢者の看護(早期発見、緊急連絡、応急処置)、災害看護(避難所での生活援助)			講義 演習	
	治療を受ける高齢者の看護		高齢者の薬物療法、手術療法、リハビリテーション、診察、入院、退院			講義	
	運動機能障害を支える看護		骨粗鬆症、大腿骨頸部骨折の高齢者の看護			講義	
	認知症・せん妄等の看護		認知症の高齢者の看護、高齢者のせん妄の看護			講義	
11	試験(1時間)					試験	
評価 基準	100点満点とし、6割以上を合格とする。また、授業時間数の3分の2以上の出席が必要となる。						
評価 方法	出席状況と講義演習への参加態度、課題レポート、筆記試験などで総合的に評価する。 また、シミュレーション演習、パフォーマンス課題、ルーブリックに基づき、ポートフォリオの内容等も総合的に評価を行う。						
教科書	新看護学13 老年看護 医学書院 必要時、資料等は配布する。						
履修上の 注意点							